

授業づくりシート

「授業づくりシート」 (特別支援学校)

授業づくり支援課特別支援班

授業は、各教師やチームによる実態把握や教材研究を通して、構想していきます。以下の表には標準的な授業づくりの項目を挙げました。また、各観点は、魅力ある授業をつくるために参考となる観点です。

| 項目              | 授業構成(指導案作成)の観点  |    |
|-----------------|---|----|
| (1)単元(題材)名      | 学習活動(学習内容)が分かる単元名   | 1  |
| (2)実態           |   |    |
| ア 子どもの実態        | ア 「集団の構成」「集団の特長」、単元設定にかかわる実態  | 2  |
| イ 単元における集団の実態   | イ 単元における集団の学習経験、身に付けている力、興味関心、理解の仕方等                                | 3  |
| ウ 単元における個の実態    | ウ 単元における個々の学習経験、身に付けている力、興味関心、理解の仕方等                                | 4  |
| (3)単元設定の理由      |   |    |
| ア 単元観           | ア 単元の特長(概要、季節、地域性等)、単元そのものが持つよさ・価値                                  | 5  |
| イ 単元と子どもの実態との関係 | イ この時期、この単元で学ぶことの意義   | 6  |
|                 | この単元で、育つ力   | 7  |
| (4)単元目標         | 学習指導要領の領域・教科の目標を踏まえた目標の具体化  | 8  |
| ・ 集団の目標         | 個別の指導計画の目標を踏まえた目標設定   | 9  |
| ・ (グループの目標)     | 評価可能(達成可能)な行動目標の設定  | 10 |
| ・ 個の目標          | 集団と個の目標の整合性   | 11 |
| (5)単元構想         | 子どもの思考過程に沿った単元構成  | 12 |
|                 | 目標達成に適切な学習活動、学習内容   | 13 |
|                 | 過去の学習とのつながり、今後の学習への発展等が分かる記述  | 14 |
|                 | 単元目標を達成するための具体的な手だて【「内容」「活動(種類と量)」「教材教具」「グループ編成」「場の設定」「教師のかかわり方」】   | 15 |
|                 | 子どもが主体的に取り組み、自分で活動するための具体的な手だて                                      | 16 |
| (6)指導計画         | 各段階の目標、内容、時間配当、評価(観点、基準、方法)   | 17 |
|                 | 単元目標達成につながる各段階の目標設定   | 18 |
| (7)本時の目標        | 単元目標を具体化し、単元目標達成につながる目標の設定  | 19 |
| ・ 集団の目標         | 本時の中で身に付けることができる目標設定  | 20 |
| ・ (グループの目標)     | 評価可能な行動目標   | 21 |
| ・ 個々の目標         |   |    |
| (8)本時の構想        | 単元全体の中での本時の位置付け   | 22 |
|                 | 本時の目標を達成できる適切な学習活動  | 23 |
|                 | 本時の目標を達成するための具体的な手だて【「内容」「活動(種類と量)」「教材教具」「グループ編成」「場の設定」「教師のかかわり方」等】 | 24 |
|                 | 子どもが主体的に取り組み、自分で活動するための手だて  | 25 |
| (9)本時の展開        | 目標達成に必要で十分な学習活動   | 26 |
|                 | 取り組みやすく、分かりやすい学習活動(学習内容)を精選して配列                                     | 27 |
|                 | 学習活動に適した活動量と活動時間の設定   | 28 |
|                 | 課題をつかみ、見通しが持てる展開  | 29 |
|                 | 成就感や達成感を味わって終わることができる展開   | 30 |
|                 | 学習活動に対応した集団、グループ、個への具体的な手だて   | 31 |
|                 | TTの役割   | 32 |
|                 | 目標の達成を評価するための活動や場面の設定   | 33 |
|                 | 分かりやすく活動しやすい学習環境や場の設定(配置図)  | 34 |
| (10)単元(本時)の評価   | 子どもがそれぞれの目標を達成することができたか   | 35 |
|                 | 目標を達成するための手だては適切であったか   | 36 |